

<大会要項>

1. 大会名称

平成25年度 東京都学生同好会 秋季アイスホッケー選手権大会

2. 主催

東京都アイスホッケー連盟

3. 期間

平成25年10月17日(木)～平成25年12月8日(日)

4. 会場

シチズンアイススケートリンク
ダイドードリンコアイスアリーナ

5. 大会事務局

東京都アイスホッケー連盟
〒202-0021 西東京市東伏見 3-1-25
Tel.042(467)8282 Fax.042(468)2131

6. 大会運営委員

松永 晃(連盟担当者) 間野 幸浩(学生委員長) 柏原佑一朗(学生副委員長)
高岸 龍之介(総務) 大澤 蔵人(会計) 大川 暉人(審判) 齊藤 翼(記録)

7. 納入金

大会参加費 ￥30,000(全チーム)
試合運営費

- 【予選リーグ】 ￥88,000(全チーム: ￥22,000×4試合)
- 【決勝TシチズンR】 ￥22,000(2チーム対象: 予選4・5位チーム)
- 【決勝Tダイドール】 ￥70,000(4チーム対象: ￥35,000×2試合)
- 【保険】 当該チームで負担(4チーム対象: ￥20,250ずつ)

- ・大会参加費・予選R運営費(￥118,000)、保険代(￥20,250: 4チーム)は **10月10日(木)**までに大会口座に振り込むこと。
- ・決勝トーナメント試合費(￥22,000 または ￥70,000 または ￥92,000)は **12月4日(水)**までに大会口座に振り込むこと。
- ・振込後に **学生委員会計担当に連絡**をすること。

※決勝Tで延長戦を行った場合、1チームあたり￥5,000/試合を追加徴収する。

8. 選手登録(連盟登録、大会登録、試合出場登録)

①連盟登録(日ア連登録)

日ア連(FaceOff)への追加登録は **10月10日(木)**を締め切りとし、同一年度(4/1~3/31)の移籍は認めない。追加登録は、チームIDとパスワードを入力してログインし手続きすること。(登録費の振込まで完了させること)

②大会登録(大会申込)

①の連盟登録者より大会参加申込書(大会登録者一覧表)を作成し、連盟に提出する。**(10月10日締切)**
※締切日を過ぎての登録は一切認めない。

③試合出場登録(オールメンバー表)

各試合に出場する選手・役員を②の大会登録者より選出し(最大でGK2名、プレイヤー20名の計22名、役員6名)、**試合開始30分前までにオールメンバー表を提出する。(決勝Tは2部提出)**

<大学の規定>

登録選手の在学する大学は、関東大学リーグに準じ、関東地方および山梨県とする。

<学生証>

大会登録選手の学生証のコピーを連盟に提出する(提出のない者は出場不可。**提出期限10月10日**)
データの場合はメール添付可。郵送の場合は連盟(上記住所)まで郵送すること。
また、提示を求められた際にすぐに対応できるよう、**全登録者は顔写真入り学生証を携帯**しなければ

ならない。

<登録年限>

選手登録は、各人5年間までとする。ただし医学生および大学院進学者については、初年度から6年間まで認める。

<体育会に所属していた選手についての規定>

過去に体育会に所属していたものについては、連盟からの登録抹消から5ヶ月後に登録を認め、6ヶ月後から公式戦への出場を認める。

9. 傷害保険

登録選手は傷害保険へ加入しなければならない。

10. 表彰

優勝チームには優勝杯および賞状を、2・3位チームには賞状を授与する。

個人賞として、最優秀選手賞1名、ベスト6、得点・アシスト・ポイント賞各1名、最優秀セーブ率賞1名(GK)[※]、新人賞1名に賞状を授与する。(選考・ポイント換算は、決勝トーナメントを含む)

※試合数の40%以上の滞氷時間を満たしていることを条件とする。

11. 大会口座名

<大会参加費・試合運営費振込先>

銀行名 : 東京三協信用金庫 東伏見支店
口座名 : 東京都アイスホッケー連盟
口座番号 : 0103069
預金種目 : 普通預金

<選手登録費振込先>

銀行名 : 東京三協信用金庫 東伏見支店
口座名 : 東京都アイスホッケー連盟 登録加盟
口座番号 : 0129346
預金種目 : 普通預金

*振込みの際は、振込人を必ず「**チーム名**」とすること。

＜競 技 要 項＞

1. 試合方法・試合時間及び順位決定

☆ 試合方法

全5チームによる総当りの予選リーグを行う。(1時間30分)

- ・予選リーグの順位により、決勝トーナメントの組み合わせを決定する。
- ・組み合わせの仕方は、予選リーグの1位×(4位×5位の勝者)、2位×3位により準決勝を行い、準決勝の勝者により決勝、敗者により3位決定戦を行う。(最大1時間45分)
- ・決勝・3位決定戦のみ、パックスによりホームチームを決定する。

☆ 試合時間

全試合正規時間(ストップタイム)15分×3ピリオド、休憩3分、練習5分、タイムアウトなし

- ・ただし、オフィシャルが貸切終了3分前までに試合が終わらないと判断した場合、その時点で、ランニングタイムとする。(決勝Tも第3P終了は1時間30分を基本とし、3分前までに終了しない場合は、ランニングタイムを適用する。)
 - ・また、試合の残り時間にかかわらず、得点差が10点以上開いた場合、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとし、点差が縮まっても続行する。
 - ・以上の条件により、ランニングタイムで試合が進行している場合でも、以下の場合はストップタイムとする。
 - ①ペナルティ発生時から最初のフェイスオフまで
 - ②得点時間の確認(確認後すぐに時計は進める)
 - ③第3ピリオドの最後の2分間
 - ・決勝・準決勝・3位決定戦は、第3P終了時に同点の場合、サドンヴィクトリー方式による4vs4、正味5分間の延長戦を行う。なおかつ同点の場合は、サドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのゲームウィニングショットで勝敗を決定する。(この場合、リンク代を別途徴収する)
- ※4・5位決定戦は、1・2Pは15分、3Pは10分とし、同点の場合は1名ずつのGWSを行う。

☆ 順位決定

勝ちを3点、引き分けを1点とし、勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点と同じ時は、

- (1)勝利数の多いチーム
 - (2)当該チームの対戦成績
 - (3)当該チーム同士(3チーム以上)の試合で得失点差の大なるもの
 - (4)当該チーム同士の総得点÷総失点の商の大なるもの
 - (5)全試合の得失点差の大なるもの
 - (6)全試合の得点÷失点の商の大なるもの
 - (7)全試合のペナルティータイム(分)の小なるもの
 - (8)直近の大会(H25春季大会)で順位が上位であるもの
- 以上1)～8)の条件順で順位を決定する。

2. 競技規則 東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則による。

3. 補助規則(ローカルルール)

- 1) 試合を棄権するチームは試合時間の24時間前までにその理由を連盟まで文書にて届けること。(その場合、0対15の不戦敗となる。)
- 2) 未登録者が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし0対15の不戦敗とする。
- 3) プレイヤーはフルフェイスマスクまたはバイザーを着用しなければならない。バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。(フルフェイスマスクの付帯パーツは正しく装着すること)
- 4) フルフェイスマスクを着用しないにかかわらず、マウスガード(白・透明・肌色以外)を必ず着用しなければならない。
- 5) 危険な防具を着用している選手は試合に出場できない。試合前に必ずレフェリーが確認する。試合中、正しく防具を着用していない選手に対し、レフェリーの判断で警告なしに1回目の違反より直ちにミスコンタクトペナルティを科すものとする。
- 6) 試合の際に役員登録されている役員(監督・コーチ)がベンチ入りしない場合、責任者としてチームキャプテンが責任を負うものとする。
- 7) ベンチにはGK2名、プレイヤー20名の計22名、役員6名まで入れる。
- 8) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。当該選手が得点をあげても無効となる。また、当該選手がペナルティーを犯した場合は、代替選手がそのペナルティーを受けるものとし当該選手は直ちに退場となる。
- 9) 試合の実施は、**試合開始までにゴールキーパーを除き5名**とし、それ以下の選手数のチームは試合を放棄したものとみなし、0対15の不戦敗となる。

- 1 0) 試合中におけるタイムアウトは認めない。
- 1 1-1) ユニフォーム及びストッキングはチーム全員が揃えるものとする。ユニフォームを試合に持参しなかった、ユニフォームをまだ作っていないなどの理由でそのチームの本人以外のユニフォームを着る場合は、以下の 2 つの条件を満たさなければ、その選手は登録されていても試合に出場できない。
- *条件 1 同色系のテープや布などで背ネームを隠し、試合中にはがれないようにすること。
- *条件 2 チームの主将が、登録しようとした選手の顔写真入りの学生証を主審及び相手の主将に提示し、主審及び相手チームの主将が大会登録者一覧表との照合を行う。
- *特例 ~~新入部員でどうしてもユニフォームが揃わない者は、ユニフォーム以外のジャージの着用を認める。その場合の背番号は、テープ等で表示する。(春季大会のみ)~~
- 1 1-2) レフェリーあるいは、相手チームのキャプテンに学生証の提示を求められた場合はいつでも確認を受けられるように、試合出場者は全員が学生証を用意しておかなければならない。
- 1 2-1) 予選リーグのレフェリーはレフェリー委員会に依頼し、ラインズマンは当番チームより 2 名派遣する。決勝 T はレフェリー・ラインズマンともレフェリー委員会に依頼する。
- 1 2-2) 審判は当番チームを代表するものであるから、その責任を負うことのできる **チームの 3・4 年生の幹部級の者か、アイスホッケー歴 3 年以上の者**が行わなければならない。かつ、**審判をする者はクリニックを受講**しなければならない。
- 1 2-3) 当番チームは試合に先立ち、ラインズマン 2 名の名前を公表しなくてはならない。
- 1 2-4) 当番チームは**審判 2 名、ゴールジャッジ 2 名、本部 4 名以上 (計時、ゲームシート、アナウンス、ペナルティボックス) の計 8 名以上が試合開始 30 分前**に集合しオフィシャル業務を努める。(ダイドー・東大和の場合は、オフアイス 8 名以上)
- 1 2-5) 当番の肩代わり：当番の肩代わりはトラブルの原因になりやすいので極力避けること。やむをえず肩代わりをする場合は、試合開始 24 時間前までに**同好会学生委員長に連絡**すること。
- 1 2-6) 当番チームの役職者：当番スタッフのうち**必ず 1 名はチームの役職者を含めなくてはならない**。
- 1 2-7) 当番ならびに試合の遅刻、欠席、棄権及び連盟規約に違反した場合、罰金から無期試合停止までの罰則を科す。(当番の遅刻〈15 分前から対象〉は、¥1,000/人、欠員は¥2,000/人を徴収する。)
- 1 3) 対戦表の左側のチームをホームチームとし、本部席より左側のベンチを使用する。
- 1 4) ピリオド間の休憩の後、最初にプレーする 6 名以外は速やかにベンチに入ること。
- 1 5) ゴールキーパーの防具については、**平成 23 年度より旧サイズを認めないものとする**。
- 1 6) シチズンアイススケートリンクで行われる試合においては、アウト・オブ・バーンズを反則と見なさない。
- 1 7) シチズンアイススケートリンクで行われる試合において、ネットにあたったパックが内側に入った場合はインプレイとし、外に出た場合はアウト・オブ・バーンズとする。
- 1 8) ダイドー・東大和で行われる試合において、**ベンチ入りするスタッフ(ドアマン、控え GK 含む)が学生の場合、フルフェイスマスクを着用**しなければならない。
- 1 9) 連盟より処分を科せられているチーム・選手の確認を行い、適切に対処する。

4. 指定緊急病院

春山外科 新宿区百人町 1-24-5 TEL 03 (3363) 1661
 大同病院 豊島区高田 3-22-8 TEL 03 (3981) 3213

5. 試合結果報告

- 各試合について、当該 2 チームとオフィシャルチームはそれぞれ個別に、都連 HP のスコア報告サイトに連絡をすること。